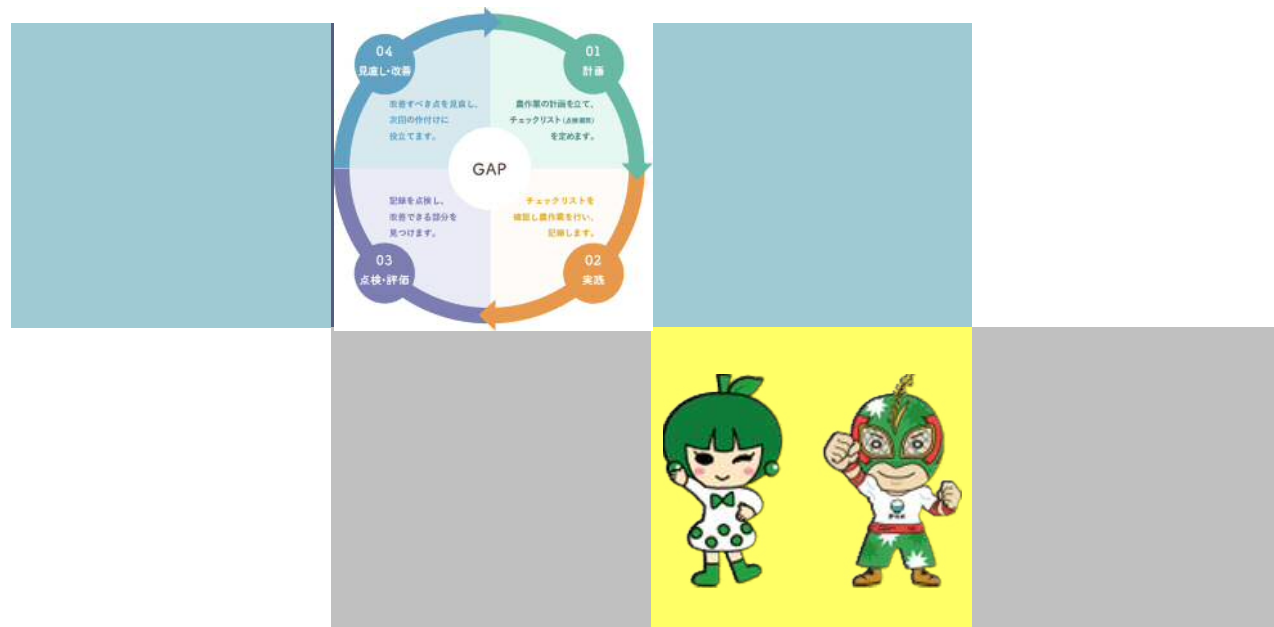


産地一体で取り組むJGAP団体認証



JAおおいた 本店営農部 営農企画課
井上 累実

目次

1. 自己紹介
2. JAおおいたの概要
3. JAおおいたのJGAPの取り組み
4. JGAP団体認証取得の経緯
5. 認証取得状況
6. JAおおいたGAP研究会
7. 普及、指導方法
8. GAPに取り組んだ感想（生産者）



1. 自己紹介

氏名 井上 累実
学歴 大分大学 経済学部
職歴 流通販売推進課（3年）→産休・育休
現在 営農企画課（2年目）GAP担当
趣味 食べ歩き → ボディメイキング
（6カ月目）



1. 自己紹介

農業知識の浅い私に
GAPの指導が出来るの…？

趣味

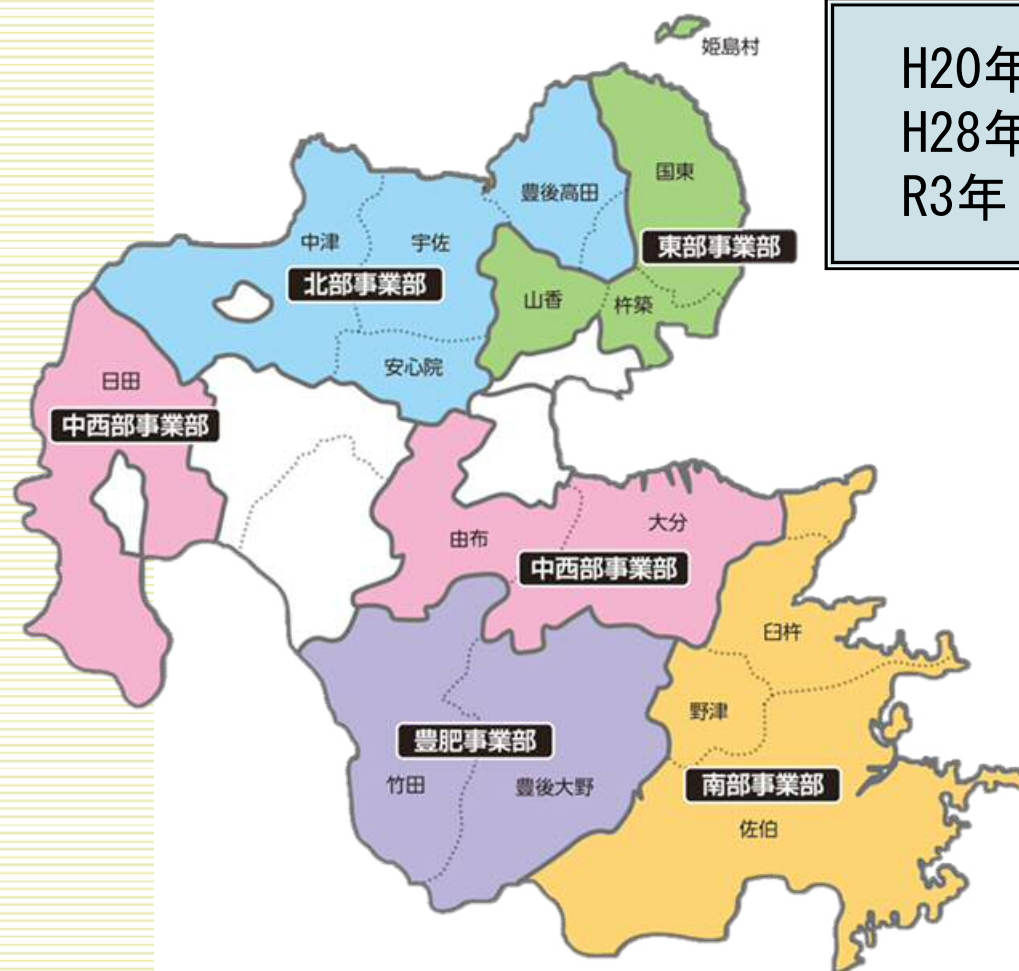


担当

イメージング
(6カ月目)



2. JAおおいたの概要



H20年 県内16JAの合併により発足
H28年 16地域 → 5事業部制へ移行
R3年 県内2JAと合併

職員数	合計	2,030人
-----	----	--------

営農指導員	149人
-------	------

組合員数	合計	102,894人
------	----	----------

正組合員	54,481人
------	---------

准組合員	48,413人
------	---------

令和2年3月31日現在



3-1. JAおおいたのJGAPの取り組み

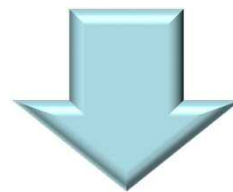
(1) 自己改革の実現

<農業振興計画>

目標：生産者の所得増大、生産拡大、地域活性化

(2) 販売戦略の構築

- ・ 営農指導 安全・安心な農産物づくりの徹底
- ・ 流通販売部門 市場販売から契約的取引の拡大



JGAP認証の活用



3-2. JAおおいたのJGAPの取り組み

事務局（JA）を中心として、各農場・農産物集出荷施設を
まとめ、認証取得を目指す

団体認証のメリット

- ▶ 個別認証と比べ、**個人負担の金額を抑えられる**
- ▶ 同じ工程管理を行うことで、品質管理を統一できる
- ▶ 効率化が見込める
- ▶ 役割分担を行い、認証基準を満たすことが容易

JAおおいたGAP研究会

- ▶ G A P 認証を基軸とした組織
- ▶ オリジナルマニュアルの使用



4-1. JGAP団体認証取得の経緯

H24 南部共販いちご部会GAP研究会 JGAP団体認証取得

H26 JAおおいた大分事業部みつば部会 ／ JAおおいた柑橘研究会GAP部会 取得

H27 JAおおいたGAP研究会」設立【3団体を統一】取得

H29 3品目追加（大葉、白ねぎ、七草）

H30 4品目追加（梨、トマト、かぼす、にんにく）

R1 3品目追加（小ねぎ、ハウスみかん）



4-2. JGAP団体認証取得の経緯

個別認証



約10万円／年

団体認証



部会ごと認証
1生産者あたり：
約4万円／年



H27年度研究会設立時
1生産者あたり：
約2万円／年

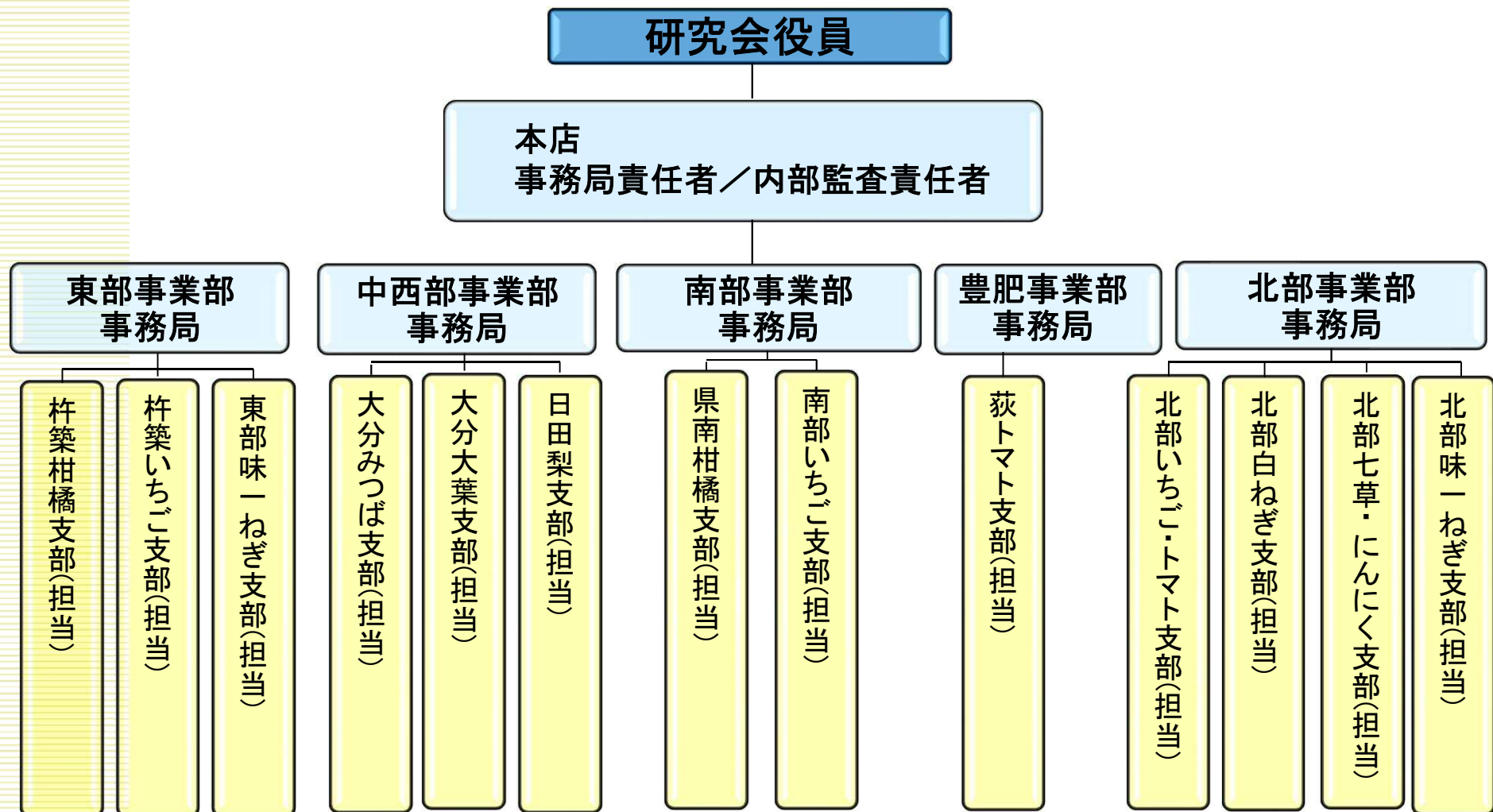
R1年度 審査負担金
1生産者あたり：1万円／年

5. 認証取得状況

	H29年度	H30年度	R1年度
品目数	13 品目	17 品目	18 品目
農場数	78 農場	160 農場	166 農場
農場面積	98.7 ha	221 ha	241.7 ha
農産物販売量	2,022 t	5,885 t	6,636 t
農産物販売高	2,500 百万円	3,598 百万円	3,945 百万円



6-1.JAおおいたGAP研究会 組織図



6-2. JAおおいたGAP研究会の考え方

GAPって
かなり費用がかかる
のでは？

GAPって
難しいのでは？

高齢者だから
出来ないのでは？

POINT

- ▶ リスクを軽減し、継続する
- ▶ 生産者の負担を軽減する
- ▶ 複雑、高レベルなルールは避ける
- ▶ 実現可能なルールを設定する



7-1. 普及、指導方法

本店

- ・研究会の運営
- ・事業計画、各種申請、取りまとめ
- ・マニュアルや様式、指導資料作成
- ・審査会社、行政、各事業部 対応
- ・模擬審査、指導

…etc

各事業部事務局

- ・事業部管内の取りまとめ
- ・品目担当との連携
- ・新規取得者への支援
- ・書類作成、倉庫整理
- ・内部監査の実施
- ・審査対応

…etc

生産者

営農指導員

- ・各品目、生産者への対応
- ・研修会の実施
- ・内部監査前の準備
- ・帳票の記入内容の検討、周知
- ・新規取得者への支援

…etc

大分県

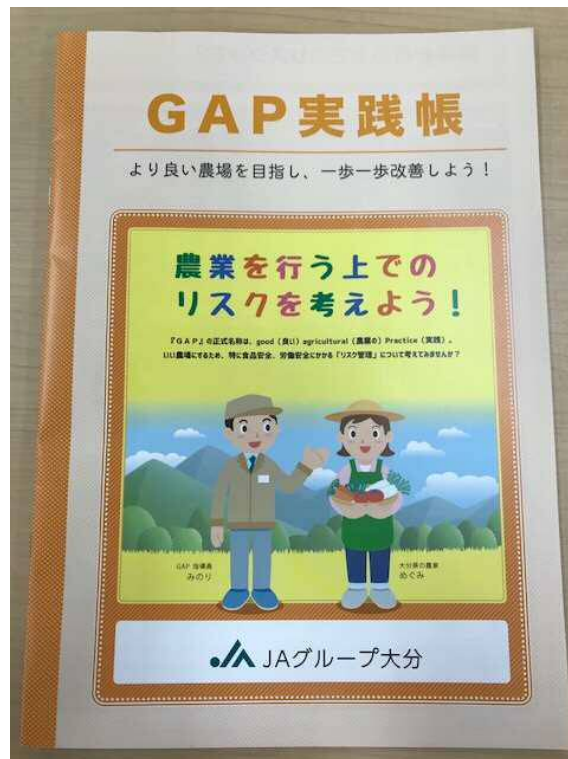
- ・研修会の実施
- ・JA職員への指導、支援
- ・補助事業等の対応
- ・内部監査や審査対応
- ・新規取得者への支援

…etc



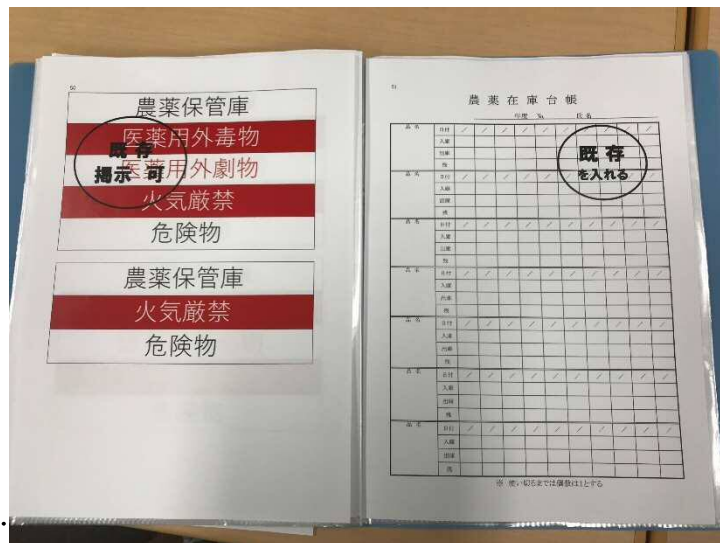
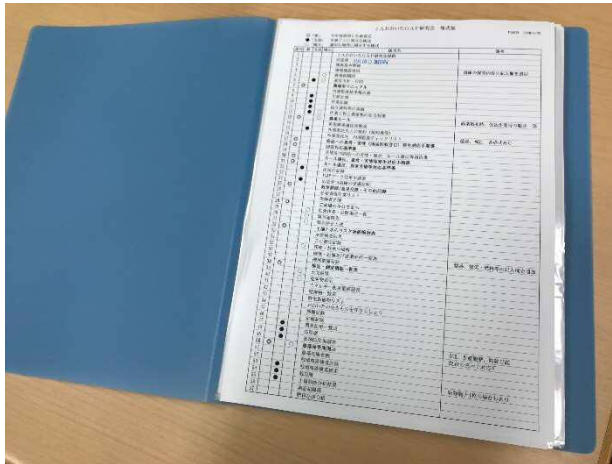
7-2. 普及、指導方法

新規生産者

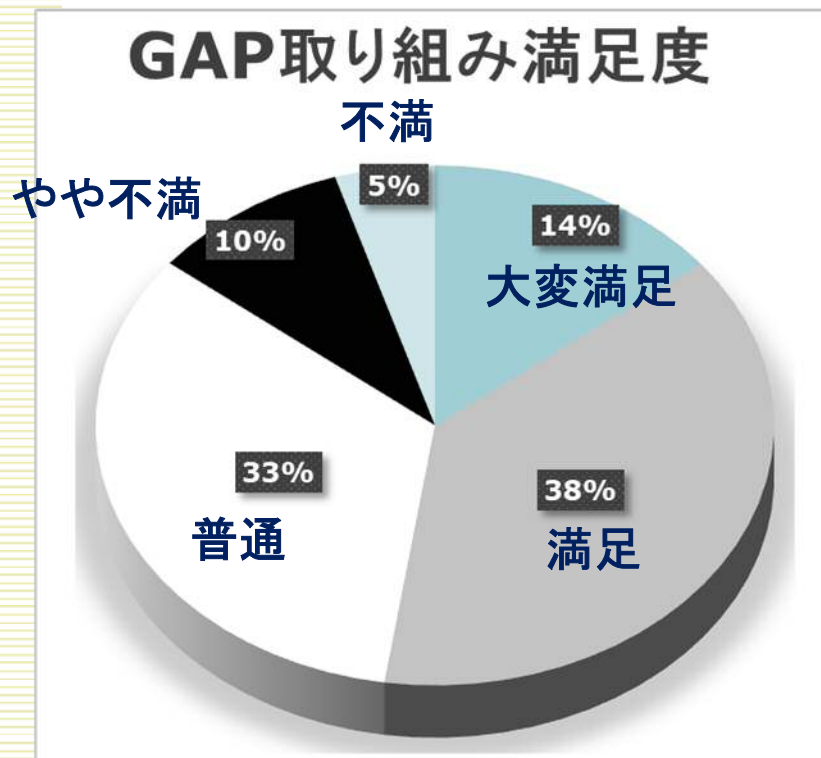


7-3. 普及、指導方法

研究会 会員



8. GAPに取り組んだ感想(生産者)



- 整理整頓するようになり圃場や倉庫が綺麗になった。
- 品質管理、労務管理について知ることができ、意識するようになった。
- 日々の数値の見える化が1年間で大きな数字へと繋がった。
- 作業工程、労務についての考え方が変わった。(高齢者への配慮など)
- 人材育成に役立っている。
- 販売価格へのメリットへ繋げて欲しい。
- 記帳に手間がかかる。

